４．建築学科　専門教育科目の履修の流れ（建築システムコース）

必　修　科　目　　選　択　科　目

専門学士力および到達目標		1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
建築学基礎	・建築学に必要な数学および物理の基礎力を身に付け、建築構造、環境・設備や建築材料等において必要な計算をすることができる。 ・建築専門を学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技術・表現力を身に付け、建築設計、建築計画・歴史・意匠、建築構造、建築材料・生産、建築環境・設備の各専門分野に興味を持つことができる。	建築学の数学 建築学の物理 建築入門 建築概論							
建築設計	・図面の読み方、描き方について理解し、必要な知識・技術を身に付け、建築製図をすることができる。 ・各種設計条件に基づき建築を設計するために必要な知識・技術を身に付け、建築設計をすることができる。 ・各種の設計条件に基づき建築の企画・計画・設計と、その表現に必要な知識・技術を身に付け、建築設計とその表現をすることができる。	建築設計Ⅰ 建築表現	建築設計Ⅱ 建築CAD	建築設計Ⅲ	建築設計Ⅳ 建築専門CADとBIM	建築設計Ⅴ 建築専門表現	建築設計Ⅵ	建築設計Ⅶ	
建築計画・意匠・歴史	・住宅の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な住宅計画ができる。 ・各種施設の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な施設計画ができる。 ・地域の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な地域計画ができる。 ・建築の意匠全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な意匠計画ができる。 ・建築の歴史全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な保存再生ができる。		建築造形 建築計画Ⅰ ヨーロッパ建築史	ランドスケープデザイン インテリアデザイン 建築計画Ⅱ 日本建築史	建築計画Ⅲ	都市計画 建築計画Ⅳ 近代建築史	地域空間計画	建築意匠	
建築構造	・建築の構造について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切に設計や計画をすることができる。 ・構造力学を理解し、必要な知識・技術を身に付け、構造解析ができる。 ・構造設計を理解し、必要な知識・技術を身に付け、構造計画ができる。	骨組の力学Ⅰ 骨組の力学Ⅰ演習	骨組の力学Ⅱ 骨組の力学Ⅱ演習	骨組の力学Ⅲ 木質構造	鉄骨構造 鉄骨構造演習 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造演習	建築基礎構造 耐震設計法	建築構造の設計		
建築材料・生産	・建築構造材料・仕上材料について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な材料の設計選択ができる。 ・住宅・建築の構法・施工について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な生産管理ができる。 ・建築性能とその実験方法について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な性能評価ができる。	建築材料Ⅰ	建築材料Ⅱ	建築材料実験	建築システム総合実験	住宅生産	建築生産	建築性能論	
建築環境・設備	・地球環境および都市環境への建築の寄与について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な環境配慮ができる。 ・建築環境工学について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な環境計画ができる。 ・建築設備学について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な設備計画ができる。		建築環境工学概論	熱・空気環境	音・光環境	建築設備システム及び同演習	都市環境		
建築学総合	・法規や経済などの面から建築を理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な設計と計画（意匠・構造・設備）ができる。 ・建築学の基礎および専門の知識を統合し、応用・展開する力を身に付け、建築に対する総合的な理解を通して創造的に設計（製作）もしくは研究が遂行できる。 ・建築技術者・設計者に必要な総合的な力を身に付け、培った力を社会で活かすことができる。				建築法規及び同演習	建築プロフェッショナル論	建築経済 建築学研修Ⅰ	建築総論 災害と建築 建築学研修Ⅱ	建築学研修Ⅲ

４．建築学科　専門教育科目の履修の流れ（建築デザインコース）

必　修　科　目　　選　択　科　目

専門学士力および到達目標		1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
建築学基礎	・建築学に必要な数学および物理の基礎力を身に付け、建築構造、環境・設備や建築材料等において必要な計算をすることができる。 ・建築専門を学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技術・表現力を身に付け、建築設計、建築計画・歴史・意匠、建築構造、建築材料・生産、建築環境・設備の各専門分野に興味を持つことができる。	建築学の数学 建築学の物理 建築入門 建築概論							
建築設計	・図面の読み方、描き方について理解し、必要な知識・技術を身に付け、建築製図をすることができる。 ・各種設計条件に基づき建築を設計するために必要な知識・技術を身に付け、建築設計をすることができる。 ・各種の設計条件に基づき建築の企画・計画・設計と、その表現に必要な知識・技術を身に付け、建築設計とその表現をすることができる。	建築設計Ⅰ 建築表現	建築設計Ⅱ 建築CAD	建築設計Ⅲ	建築設計Ⅳ 建築専門CADとBIM	建築設計Ⅴ 建築専門表現	建築設計Ⅵ	建築設計Ⅶ	
建築計画・意匠・歴史	・住宅の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な住宅計画ができる。 ・各種施設の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な施設計画ができる。 ・地域の計画全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な地域計画ができる。 ・建築の意匠全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な意匠計画ができる。 ・建築の歴史全般について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な保存再生ができる。		建築造形 建築計画Ⅰ ヨーロッパ建築史	ランドスケープデザイン インテリアデザイン 建築計画Ⅱ 日本建築史	建築計画Ⅲ	都市計画 建築計画Ⅳ 近代建築史	地域空間計画	建築意匠	
建築構造	・建築の構造について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切に設計や計画をすることができる。 ・構造力学を理解し、必要な知識・技術を身に付け、構造解析ができる。 ・構造設計を理解し、必要な知識・技術を身に付け、構造計画ができる。	骨組の力学Ⅰ 骨組の力学Ⅰ演習		骨組の力学Ⅱ 骨組の力学Ⅱ演習	骨組の力学Ⅲ 木質構造	鉄骨構造 鉄骨構造演習 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造演習	建築基礎構造 耐震設計法	建築構造の設計	
建築材料・生産	・建築構造材料・仕上材料について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な材料の設計選択ができる。 ・住宅・建築の構法・施工について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な生産管理ができる。 ・建築性能とその実験方法について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な性能評価ができる。	建築材料Ⅰ	建築材料Ⅱ	建築材料実験	建築システム総合実験	住宅生産	建築生産	建築性能論	
建築環境・設備	・地球環境および都市環境への建築の寄与について理解し、必要な知識・視座を身に付け、適切な環境配慮ができる。 ・建築環境工学について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な環境計画ができる。 ・建築設備学について理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な設備計画ができる。		建築環境工学概論	熱・空気環境	音・光環境	建築設備システム及び同演習	都市環境		
建築学総合	・法規や経済などの面から建築を理解し、必要な知識・技術を身に付け、適切な設計と計画（意匠・構造・設備）ができる。 ・建築学の基礎および専門の知識を統合し、応用・展開する力を身に付け、建築に対する総合的な理解を通して創造的に設計（製作）もしくは研究が遂行できる。 ・建築技術者・設計者に必要な総合的な力を身に付け、培った力を社会で活かすことができる。				建築法規及び同演習	建築プロフェッショナル論	建築経済 建築学研修Ⅰ	建築総論 災害と建築 建築学研修Ⅱ	建築学研修Ⅲ